



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 AKIBA ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 馬場 正身
(JASDAQ・コード番号 6840)
問合せ先 取締役管理本部長 五十嵐 英
(TEL. 03-3541-5068)

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成 29 年 9 月 1 日に公表しました平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

平成 30 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間連結業績予想値と実績値との差異
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,500	百万円 △40	百万円 △30	百万円 △115	円 銭 △12.51
今回実績 (B)	3,615	△13	△3	△117	△12.74
増減額 (B－A)	1,115	27	27	△2	
増 減 率 (%)	44.6	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	2,308	△0	△65	△60	△6.72

差異の理由

売上高につきましては、メモリ製品製造販売事業において、保守的に見込んでいたコンシューマ向け PC 用途のメモリの出荷が引き続き好調に推移したこと、Wi-Fi レンタル事業において、レンタル数が順調に伸長したこと、並びに、HPC 事業において、大口案件含め、受注、納品が想定を超えるペースで進んだことから、業績予想を上回りました。また、営業利益、経常利益においても、売上高の大幅な増加にともない利益額が増加し、業績予想を上回りましたが、売上高の増加の主たる要因であるコンシューマ向け PC 用途のメモリの利益率が低く推移したことから、利益の増加は小幅にとどまりました。

また、通信コンサルティング事業において、地方拠点開設の過程で解約違約金が発生したこと、利益が予想を上回っている事業にかかる計画が保守的であったことにより税金負担が増加したこと、HPC 事業の伸長により非支配株主に帰属する当期純利益の比率が高まったことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は予想を下回る結果となりました。

以 上